

～使命の追求～

2014年7月10日発行 7月号 No. 233

◇「ロジ研総会懇親会での会長挨拶(要約)」



東ト協 大高一夫 会長

26年度の体制が整ったとのこと、誠におめでとうございませ

す。ロジ研の皆さんには、日頃から関係各方面に業界の実態や声を積極的に発信いただくなど、協会の事業活動を様々な角度からサポートしていただき、改めて感謝申し上げます。

「使命の追求」、これが今年度の統一テーマと伺いました。そこには、業界を良くしていくため業界の一員として、ロジ研組織として、東ト協の活動を全面的にバックアップしていこう、その為には何をやるべきか、そういった皆さんの熱い思いと模索が伝わってまいります。大変嬉しく、そして心強く思った次第であります。

ご承知のとおり、業界では、課題が山積しております。

今こそ業界一丸となって実態を訴え、汗をかき、一つ一つ確実に結果を出していかなければなりません。

ロジ研出身の支部長さんも多くなってまいりました。そのような中、私としては、松本本部長に協会活動の一角を担っていただく事も考えておまして、皆さんの更なるご支援を切にお願いするところでございます。

◇「本部長挨拶」



本部長 松本 有司
【台東支部 金方堂運輸(株)】

平成26年度第27回ロジスティクス研究会通常総会にて本部長の続投を拝命した松本有司でございます。

我々ロジスティクス研究会は東京都トラック協会の女性部、青年部と共に公認三組織の一つであります。女性部、青年部との連携は元より、当組織の内部機関である本部連絡委員会を中心に東京都トラック協会(以下東ト協)本部組織との連携を深め、東ト協会長の指示のもと各支部との連携を強化し、行政や国会議員との意見交換会を活発に実施するなど、東ト協の組織下にありながら副会長、支部長等を所属メンバーとする横断的組織として、業界発展に寄与する提案活動を展開して参ります。

本年度はテーマを「(我々の)使命の追求」とし、東ト協本部の常設委員会の見直しに連動し、当組織内部にも新たに物流政策委員会、海外交流委員会を新設して、より有効性の高い活動を展開して参る所存であります。東ト協傘下各位の一層のご意見、ご指導をお願い申し上げます。

総会資料より 平成26年度事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 活動方針

長期デフレからの脱却が開始され概ね一年が経過したが、我々業界に於いては対応不足の感が否めない少子化に伴うドライバー不足や高齢化、円安による燃料の高騰加速等、環境変化に伴う課題は一層山積し、過去比類なき歴史的転換点を迎えたと思慮する。

東ト協に於かれては会員事業者支援事業としての初任運転者講習の実施、支部体制の強化、自由民主党国会議員とその選挙区である支部との意見交換会の実施、支部内部化等の諸施策をいち早く対応開始して頂いているが、特に国会議員との意見交換会への同席等、数多くの諸活動に対しロジ研の参加を要請頂けたことは誇りであると同時に、我々への期待感とその責任の重さを痛感した一年でもあった。

同席させていただいた国会議員との意見交換において、今後は東ト協としての課題の優先順位、各議員の専門分野に特化した意見の策定等についての研究が必要であると感じた。一例だが、燃料高騰問題の打開策を見ても、優先すべきは燃料サーチャージの導入を徹底するのか、暫定税率の撤廃を求めていくのか、今後は各課題に対して東ト協としての意見の統一等によって、より効果的になるよう意見交換会に臨む必要があると思われる。

限られた時間の中で、最も有効性の高い統一見解を見出す為には、東ト協全支部への横展開が必要である。勿論、ロジ研が全ての方針を策定するわけではないが、新年度の重要な方針として、まずは全支部からロジ研にメンバーを選出していただき、次に全支部に支部ロジ研を設置して頂けるよう努力する。

第二の方針として、時流に相応しい委員会を新設し、東ト協本部常設委員会として設置される物流政策委員会をロジ研内部にも同名の委員会として設置する。またこれまで分科会であった海外交流事業を委員会に昇格させる。各委員会を運営する委員長の担務も変更して変化に順応出来る組織を目指す。

我々は毎年テーマを変えて8年間継続した活動を続けて来た。平成22年に発行した「オピニオン」はフォーラム1～4の結果を取り纏めた意見書であったが、2年後の平成27年度末にフォーラム5以降を纏めた「オピニオン」の最終版を発行することを計画する。また平成25年度末に実施したフォーラム8の結論は「自負を持って有効性の高い活動を展開する」ことであったが、これを受けて新年度の統一テーマは「(ロジ研の)使命の追求」とし、東ト協の諸活動に於いてロジ研の活動の有効性を確認しながら、東ト協施策の一助を担えることを目標とする。

2. 年間統一テーマ 「使命の追求」

3. オピニオン(政策提言活動の実施)

現在のオピニオンを踏襲し、平成27年度活動後、フォーラムの結果を踏まえて再度取りまとめる。

※2頁へ続く。

◇スケジュール 《○ロジ研行事予定》

- 7/10(木) 16:00～正副本部長会議(東ト総合会館 6小)
- 7/25(金) 16:30～三組織連絡会(東ト総合会館 4階)
- 7/30(水) 17:00～本部連絡会(東ト総合会館 4階)
- 8/ 4(月) 16:00～正副本部長会議(東ト総合会館 6小)
- " 18:00～納涼会(明治記念館)

4. 事業計画

- (1) 研修会の体系的・計画的実施：年間統一テーマにかかる内容で効果的な研修会を実施する。
- (2) フォーラム9の開催：年間統一テーマに即した企画で実施する。
- (3) 納涼会の実施：会員間の親睦を図るとともに、関東運輸局・東京運輸支局長表彰等受賞会員を祝賀する納涼会を開催する。
- (4) 温故創新セミナーの実施：歴史上の人物の足跡を現地で学ぶ「温故創新セミナー」は、ここ数年明治時代を中心に中国・大連や台湾・台北等を訪ね、昨年度は岩倉使節団の見たベトナムを訪ねた。本年度も古きを訪ね新しきを創るセミナーを企画し、実施する。
- (5) 研究視察の実施：国内外の交通物流事情や経営環境等を学ぶため、関連する施設の視察や現地の関係者との意見交換を実施する。
- (6) 人材養成事業への協力：ロジスティクス研究会が青年部OBによる自主的研修集団として発足した経緯に鑑み、今後とも東ト協の人材養成事業に協力していく。特に次世代経営者を養成する「物流経営士課程」については、旧壮年部員が参加した特別物流経営士課程がその嚆矢(こうし)となっていることから、講師・指導員として協力していく。また、運輸事業助成交付金による支部研修活動についても、三組織による合同研修会の企画等についてリーダー的役割を果たすよう務めていく。
- (7) 広報活動の充実：機関紙「ひびき」は、会員の貴重な情報源であることから、テーマを決めた紙面作り等により工夫を凝らしていくとともに、ホームページとの連動を図る。また、ロジスティクス研究会ホームページについては、活用の可能性を高めながら引き続き展開・運営していく。
- (8) 忘年会の実施：会員間の親睦を図り、新年に向けた鋭気を養うため、忘年会を実施する。
- (9) 親睦ゴルフコンペの実施：健康増進とコミュニケーションを図るため、親睦ゴルフコンペを企画する。
- (10) 組織の充実強化：各支部の実情を把握し、会員の加入促進を図る。
- (11) 東ト協本部との連携強化：東ト協本部との連携を更に深め、諸施策等を密接な連絡体制のもと推進する。
- (12) 三組織の連携：三組織合同セミナー・交流会等の実施 ①青年部、女性部との三組織は、世代、性別を超えた物流事業経営者としての連携を強めるため、合同の事業を企画・実施している。本年度は、例年2月に開催している三組織の合同セミナー・新年会は当ロジ研が担当する年であるので、会員の力を結集し、開催する。②三組織連絡会の運営 三組織の連携をより密にし、各組織の事業の円滑化を図るとともに東ト協の政策の浸透を図るため、定期的を開催する。
- (13) 関東運輸局自動車交通部・東京運輸支局等運輸行政との情報交換の推進：合同でトラック産業の諸問題や将来ビジョン等に関する勉強会を開催する事により情報交換を推進する。
- (14) 海外交流分科会の活動：タイトラック協会等海外物流組織との交流を継続すると共に、各国の物流事情及び現地組織等を調査する。

～平成26・27年度正副・幹事・監事名簿～ 〈役職・氏名・会社名・所属支部・新任は新〉※敬称略

顧問		竹内 政司	竹内運輸工業(株)	多摩	
本部長		松本 有司	金方堂運輸(株)	台東	
副本部長	総務委員長	下川 悟	(株)プライム物流	中央	
〃	総務副委員長	各委員長			
〃	物流政策委員長	大島 弥一	大島運輸(株)	新宿	
〃	物流政策副委員長	藤倉 泰徳	(株)藤倉運輸	新足立	
〃	物流政策委員	各委員長			
〃	本部連絡委員長	宮本 隆幸	宮本運送(株)	多摩	
〃	本部連絡副委員長	浅野 利幸	浅野興業(株)	多摩	
〃	本部連絡副委員長	田中 敏之	新聞輸送(株)	千代田	新
〃	広報委員長	山田 正信	(株)森田商運	足立	立
〃	広報副委員長	半田 一恵	(株)入船物流システム	中央	京
〃	広報副委員長	武井 一憲	(有)武井物流	中文	京 新
〃	研修委員長	伏見 健次	上野運送(株)	文台	京 東
〃	研修副委員長	西野 毅	(株)誠和	城東	東
〃	研修副委員長	林 秀行	(株)ハヤシ配送サービス	墨田	京
〃	企画委員長	石井 秀男	(株)寿運送	文京	野
〃	企画副委員長	緋田 政人	緋田運輸(株)	中野	新
〃	企画副委員長	村山 浩一	(株)村山運輸	新足立	新
〃	海外交流委員長	相楽 俊一郎	大徳運輸(株)	足立	立
〃	海外交流副委員長	松下 章一	(有)松下運送	江戸	川
〃	海外交流副委員長	石川 康司	大東梱包(株)	品川	川
幹事	本部連絡委員	洪谷 隆義	(株)ユニコム	千代田	幹事
〃	海外交流委員	山本 伸一	芳和輸送(株)	千代田	〃
〃	本部連絡委員	佐藤 克典	サトランス(株)	千代田	〃
〃	海外交流委員	樋口 由人	川崎陸送(株)	港	〃
〃	広報委員	松原 伸行	(株)松原運送	大田 新	〃
〃	本部連絡委員	前田 圭次郎	(株)若運	世田谷 新	〃
〃	本部連絡委員	飯島 光幸	(有)トーワ・デリパリー	新宿 新	〃
〃	本部連絡委員	金子 俊一	金子運輸(株)	新宿 新	〃
〃	企画委員	甲斐野 栄一	(有)正運社運送店	新宿 新	〃
〃	研修委員	飯塚 由美子	(有)丸正運送店	新宿 新	〃
〃	研修委員	矢島 光男	(株)坂村ワールドトランスポート	杉並 新	〃
〃	研修委員	井口 浩彦	井荻運送(株)	杉並 新	〃
〃	研修委員	小俣 明彦	(株)西荻貨物	杉並 新	〃
〃	研修委員	山本文夫	(株)エイトカワサキ	杉並 新	〃
〃	本部連絡委員	國分 正道	(株)国分	文京	〃
〃	企画委員	田澤 功	コスモ運輸(株)	文京	〃
〃	研修委員	篠本 密治	徳丸運輸倉庫(株)	板橋	〃
〃	海外交流委員	篠崎 眞	(株)興真運送	板橋	〃
〃	本部連絡委員	佐久間 恒好	(株)商運サービス	練馬 新	〃
〃	広報委員	関口 勝己	(株)ケイ・エス・ライン	練馬	〃
〃	広報委員	渡辺 高志	共成運輸(株)	北	〃
〃	研修委員	瀧崎 尚	滝崎運送(株)	台東	〃
〃	研修委員	島村 栄一	島村運送(株)	台東	〃
幹事	海外交流委員	奥井 理之	坂口運輸(株)	坂口	深川
〃	本部連絡委員	鎮目 健司	(株)フックス	深川	深川
〃	研修委員	大木 健之	新大橋運輸(株)	深川	深川
〃	本部連絡委員	鈴木 敏之	鈴木商事(株)	深川	深川
〃	研修委員	中村 秀正	(株)中彦運送	深川	深川
〃	研修委員	多賀谷 修	鈴木直運輸(株)	深川	深川
〃	研修委員	落合 浩則	滝山運輸(株)	深川	深川
〃	研修委員	渡辺 美則	滝山運輸(株)	深川	深川
〃	企画委員	小川 和雅	(株)辨天おがわ運輸	江戸	川
〃	海外交流委員	田中 敬也	田中興運(株)	江戸	川
〃	本部連絡委員	森本 勝也	東亜物流(株)	江戸	川
〃	企画委員	八武崎 秀紀	八武崎運送(株)	江戸	川
〃	本部連絡委員	鈴木 貢	(有)すずか梱包運輸	葛飾	葛飾
〃	広報委員	竹中 康浩	(株)竹中興運	葛飾	葛飾
〃	広報委員	鈴木 三津雄	青戸運送(株)	葛飾	葛飾
〃	本部連絡委員	斉藤 悟春	エスエイロジテム(株)	荒川	荒川
〃	本部連絡委員	岸澤 武信	岸澤運輸(株)	荒川	荒川
〃	広報委員	石山 幸一	石山運送(株)	足立	立
〃	企画委員	城 康幸	大和システム運輸(株)	多摩	多摩
〃	企画委員	田中 伸享	(株)昭島輸送	多摩	多摩
〃	企画委員	橋本 幸明	三鷹運送(株)	多摩	多摩
〃	企画委員	松本 英孝	(株)豊運輸	多摩	多摩
監事	広報委員	永嶋 信一	亀戸運送(株)	城東	監事
監事	広報委員	武田 光宏	(株)佐藤運送	武田	監事

※平成26年6月10日より新体制となりました。よろしくお願いたします。